

# コーセーグループ CSR活動目標一覽

ステークホルダー	重要課題	活動テーマ	中期目標	2014年度実績	2015年度アクションプラン	活動の範囲	ISO26000
お客様	美の創造企業として、安心・安全を最優先に高品質な商品・サービスを提供します	安心・安全・品質	グループ全体の品質保証体制の強化	国内外グループの品質保証システムの運用ルールを確立するとともに、リスクランクと対応を明確化し一元管理とした。	モノづくりの多様化に対応した全社品質確保のための仕組みづくりの強化と品質保証情報の集約、さらなる有効活用。	コーセー、一部関係会社	消費者課題
		グループ全体の安全性保証体制の強化	●製品の安全性に関わるお客さまのお申し出に対する多面的な確認と迅速対応の仕組みづくりを実施。 ●動物実験廃止の方針を公表。日本動物実験代替法学会での受賞など動物実験代替法研究を継続推進。	●新規流通ルートや海外など、拡大するビジネス領域に対応するための安全保証体制の整備。 ●動物を用いない安全性評価業務体制の整備や、粧工連、専門学会での活動推進。			
		美容医療・予防医学・健康増進分野との関係深化とQOLの推進	●大学・医療機関との共同研究を推進し、専門学会にて成果公表。 ●日本美容皮膚科学会 ポスター賞を受賞。	●学会・論文発表による研究成果の公表による予防医学等への貢献。 ●ポルフィリン症患者への継続的な化粧品提供によるQOL向上の検討。			
		お客さま視点の研究・商品開発	化粧品を通じて、お客さまの期待を超える高いご満足を提供する	「お客さまに一步近づき」を共通スローガンとして、ものづくりや接客を通じたさらなる顧客満足のための事業活動を実施。	「お客さまにもっと近づき」をスローガンに、お客さま視点での多様性に配慮した、価値ある商品づくり。		
		ユーザビリティの向上に配慮した商品パッケージの開発推進	使用性に配慮した容器開発、ユニバーサルデザインの採用、カラーバリエーションへの配慮、商品への点字対応等を継続。	●あらゆる方に使いやすい商品・パッケージの探求の継続。 ●目の不自由な方へ、点字付き商品の拡大と、汎用の化粧品識別点字シールの無償配布開始。			
お客さまからの期待や要請に応える対応力の向上	お客さま相談室員の対応力向上教育を充実。(電話対応コンテストへの参加等)	「お客さま対応ナレッジ」を、関連会社等とも共有するシステムを構築し、多様な顧客接点で活かす。	お客さま相談室、コーセー、関係会社				
お客さまとのコミュニケーション	お客さまの声を広く集め、活かすとともにフィードバックする仕組みづくり	●「よくある質問・お問合せ」に商品改善事例の紹介コーナーを開設。(お客さま相談室) ●ウェブサイト「コーセーアイデアボックス」を新設。(商品開発部)	●お客さまの声を収集と社内共有による、商品、サービスの改善を推進。 ●コーセーWEBサイト(商品情報)にお客様との簡易コミュニケーションコーナーを新たに設置。(お客さま相談室) ●「コーセーアイデアボックス」の継続運営と商品開発への反映。(商品開発部)	お客さま相談室 商品開発部			
環境	生物多様性や環境保全に配慮し、省資源・省エネルギーに取り組みます	温暖化ガス排出量の把握と削減	CO <sub>2</sub> 排出量の把握範囲を国内製造拠点から、オフィス・物流・販売車両(国内)、および海外製造拠点に拡大。	CO <sub>2</sub> 排出量の把握事業所の範囲を拡大する。	グループ全体、物流委託先	環境	
		水資源投入量および排水量の把握と削減	水資源投入量・および排水量の把握範囲を国内の主要製造拠点から、国内全製造拠点と海外製造拠点に拡大。	水使用量・排水量把握の拡大。	グループ全体		
		廃棄物量の把握と削減	廃棄物量の把握範囲を国内製造拠点から、海外製造拠点にも拡大。	●国内生産における廃棄物の再資源化におけるマテリアルリサイクル率の向上。 ●廃棄物量の把握事業所の拡大。	グループ全体		
		商品容器・包装における環境配慮	環境負荷に配慮した容器・外装設計を推進。また環境に配慮した商品を定義し、その比率を把握した。	環境負荷削減活動の継続的推進および強化。	グループ全体		
		生物多様性の保全	「SAVE the BLUE」プロジェクトの継続と拡大	「雪肌精」商品の売上の一部を自然保護活動に活かす「SAVE the BLUE」プロジェクトを日本とアジア6の国と地域で引き続き実施。	展開国を拡大し、各国のお客さまとともに地球の自然保護活動の輪を広げる。		コーセー、海外(アジア)
取引先	創業からの「共存共栄」を継承して、サプライチェーン全体でCSR活動を推進します	原材料調達	●サプライチェーンにおけるCSR調達の推進 ●CSR基本方針に基づく定点観測の実施	●購買方針説明会(年1回)の開催、各取引先との情報交換会(年2回)の実施。 ●国内、海外サプライヤーへのアンケート、評価の実施。「環境」「人権」項目の定点観測。	「CSR調達基本方針(仮)」の着手 (グリーン調達基準書の改定)。	コーセー、一部関係会社	公正な事業慣行
従業員	従業員一人ひとりが能力を十分に発揮できるように、人材育成と職場環境の整備に努めます	人権の尊重	人権教育啓発の推進	コンプライアンス・ハラスメント等相談窓口の活用継続。  ハラスメント、コンプライアンス、メンタルケア、労務・法務管理等の講座を管理職を中心に実施。	コンプライアンス推進とリスク回避を目的として法令等の周知・教育・啓発。(労働関連法令、個人情報保護など)  左記研修の質の向上と継続。	コーセー、一部関係会社 コーセー、一部関係会社	人権
		ダイバーシティの推進	女性活躍推進、外国人登用	●契約社員美容スタッフの正社員化を実施。(1,177名; 正社員比率50%→87%) ●女性活用に向けた取り組みとして営業職のヒアリング等を実施。	●美容スタッフの新卒正社員採用および有期契約社員の正社員登用の推進。 ●育児・介護従事者への支援制度導入。	コーセー、一部関係会社	労働慣行
		障がい者雇用、退職者雇用	●障がい者雇用率の遵守(2.25%)。 ●再雇用の継続推進(85.2%)。	●障がい者雇用率の継続遵守への取り組み。 ●再雇用制度の整備。	コーセー、一部関係会社		
		人材育成	人材の能力向上	●階層別研修、通信教育や、教育基金制度(資格取得支援等)の運用による社員のスキルアップ支援を継続実施。 ●美容スタッフのメイク・接客の技術を総合的に競う「EMBコンテスト」を継続開催。	●社員のスキルとモチベーションを高める各種研修の充実。 ●メイクレッスン検定(厚労省認可)の導入による美容スタッフのスキルアップとモチベーション向上。	コーセー、一部関係会社	
地域社会	地域社会の調和と共生を目指し、化粧品を通じた社会貢献を進めます	学術支援	大学を中心に学術支援	大学との共同研究を推進。慶応大学寄附講座(2013.10~2016.9)、大学病院を始めとした医療分野との共同研究を実施。	慶応義塾大学「コーセースキンケア・アレルギー予防皮膚科学寄附講座」の研究成果中間報告発表を実施。	コーセー	コミュニティ
		スポーツ振興支援	芸術性の高いスポーツを中心とする振興支援(スケート)	日本スケート連盟オフィシャルパートナー。フィギュアスケートではメイク指導等を通じ、特に重要な美と心理面でのサポートを継続。	日本スケート連盟オフィシャルパートナーを継続し、支援の実施。	コーセー	
		芸術性の高いスポーツを中心とする振興支援(シンクロナイズドスイミング)	日本水泳連盟シンクロ日本代表オフィシャルスポンサー、シンクロナイズドスイミング オフィシャルコスメティック パートナー継続。水に強いメイクアップ商品を活用し、選手のメイク指導等を実施。	日本水泳連盟シンクロ日本代表オフィシャルスポンサー、シンクロナイズドスイミング オフィシャル コスメティック パートナー継続。	コーセー		
		文化継承、農業支援	日本の農業支援とPR	農業女子プロジェクト(農林水産省)への協賛。化粧品原料として農産物を利用する企業として、日本の農業、中でも就農女性の活躍支援。	農業女子プロジェクトの協賛継続と、各種活動による農業のイメージ向上PRを引き続き推進。	コーセー	
		東日本大震災復興支援	「fukushimaさくらプロジェクト」を通じた継続的な被災地支援	震災の記憶を風化させないために、主要ブランドの売上の一部を福島発のさくらの苗木の育成費用に。会津若松でのプロジェクトマネジメント開催等の活動実施。(プロジェクト2年目)	「fukushimaさくらプロジェクト」で主要ブランドのキャンペーンを通じた支援継続と、初めての桜の苗木の贈呈と植樹(福島県内の幼稚園)等を通して、被災地福島の応援活動を継続。	コーセー	
ステークホルダー	CSRマネジメント	CSR基盤整備	グループ全体でのCSR基盤と活動体制の整備、社内浸透促進	●ISO26000基本課題抽出ミーティングの実施。 ●活動範囲の強化(取り組み課題の増加、連携部門の増加)。	●ISO26000に基づく方向性の整理と課題抽出の継続実施。 ●創業70周年に向けたCSRマインド醸成推進。	グループ全体	組織統治
		コーポレート・ガバナンス	健全な経営遂行と、社会的信用を保持する為の体制づくり	取締役会・監査役会の適切な運用。国内外を含めた内部監査の実施。	取締役会・監査役会の適切な運用継続。国内外を含めた内部監査の実施と適切な発信。	グループ全体	
		ステークホルダーエンゲージメント	ステークホルダーへの積極的な情報開示と対話	適切な情報開示、アニュアルレポート、CSRレポート、企業情報サイト等を通じた、株主や投資家をはじめとするステークホルダーへの情報提供。  経営トップ・担当者による、株主市場関係者との対話、個人投資家向けセミナー開催等によるコミュニケーションの実施。	ISO26000に基づく課題および取り組み状況の開示、ステークホルダー・ダイアログの開催。  経営トップ・担当者による、株主市場関係者との対話、個人投資家向けセミナー開催等によるコミュニケーションの実施。	グループ全体 グループ全体	
		コンプライアンス	コンプライアンス活動推進	●国内・海外各々コンプライアンス相談窓口(専用アドレス)を設置、内部通報に対応。 ●新入社員へコーセーグループ行動指針の配布、啓発。 ●従業員にeラーニング等による各種コンプライアンス教育を実施。	●内部通報への対応(コンプライアンス相談窓口への内部通報)に対し適切且つ迅速に対応する。 ●継続的な各種コンプライアンスの教育・啓蒙活動の充実。	コーセー、一部関係会社、一部海外	
		情報セキュリティ	個人情報保護体制と予防策の強化	個人情報保護管理規程の見直し。管理体制の強化とセミナー、eラーニング等による啓発実施。	マイナンバー制への対応、管理運用体制の定期的な監査実施。	コーセー、一部関係会社	